

第28回各務原市地域公共交通会議 議事録

■委員からの意見等

・議事1 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について

委員意見・指摘事項等	今後の対応方針<事務局>
<ul style="list-style-type: none"> ● 撤退戦ともいえる人口減少化における公共交通の施策評価において、その目的及びその先にあるビジョンがあまりにも不明瞭であると感じる。評価の意義が自己目的化しているため、今回は承認しないという判断にいたしました。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通施策の目的及びビジョンについては、「各務原市公共交通網形成計画」に示しております。同計画では、公共交通の維持・確保を通して、「公共交通を利用して、皆が健康で、安心かつ快適に暮らせるまち」を将来像として掲げております。 <p>今後、人口減少・少子高齢化等の社会情勢も踏まえ、本市公共交通の具体的なターゲットや方針等については、あらためて計画の見直しや策定の中で検討させていただきます。</p>

・議事4 ふれあいバス停留所の移設について（危険なバス停）

委員意見・指摘事項等	今後の対応方針<事務局>
<ul style="list-style-type: none"> ● 交差点付近からの移設により危険性は低下するものと思います。一方、移設先の写真からは路肩幅員が狭い箇所も多いように見受けられます。やむを得ない面もあるかと思いますが、交通管理者等とも連携しながら継続的なモニタリングをお願いいたします。 ● 運輸局公表の一覧を見ると「No. 100-102, No. 383-384」が市内の停留所として該当します。運行主体に関わらず協議会で情報共有した方が良いと思います。次回以降の協議会で、他の停留所の取組状況も随時報告いただければ幸いです。 ● 危険なバス停の問題があると、すぐ対応していただけるのは有難いと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘のとおり、移設後の停留所については、今後も運行管理者等と情報交換を行いつつ、利用状況や安全性等、適宜確認して改善に努めていきたいと存じます。 ● 中部運輸局が公表する安全性確保対策が必要となる停留所リストのうち、「No. 100-102, No. 383-384」については市内を運行する民間路線の停留所となりますが、市も交通事業者とともに対策を検討し、安全確保に向けて方策を実施していきます。また、ご意見を踏まえ、今後の協議会の場で、各社の状況等、情報交換ができるよう調整してまいります。

報告・意見

- （報告2 チョイソコかかみがはらの利用状況に関して）チョイソコはまずまずの出足と思います。（利用者が女性の65歳以上が多いことに対して）高齢男性がどうしておられるのかと思います。また、利用者の生の声も聞いてみたいです。